

統計トピックス

No. 5

平成21年3月
発行 福島県統計協会
福島市杉妻町2番16号
(福島県統計分析課内)
電話 024-521-7143

☆ 身近な統計情報を紹介します

現金給与総額は2年連続、総実労働時間は3年連続の減少

～毎月勤労統計調査地方調査結果速報（平成20年平均）より～

平成21年2月に公表された「福島県の賃金・労働時間・雇用の動き（平成20年平均）—毎月勤労統計調査結果速報—」からは、平成20年の本県の賃金及び労働時間の状況などを見ることができます。

まず、賃金の動きをみると、平成20年の月平均現金給与総額は前年比1.0%減の293,798円と、昨年に引き続き2年連続の減少となっています。これは、所定内給与（基本給＋諸手当）が前年比1.0%増の230,566円と3年ぶりに増加したものの、所定外給与（超過労働給与）が前年差1,539円減の18,801円と3年連続で減少したことによるものです。

また、労働時間の動きをみると、平成20年の月平均総実労働時間は前年比0.1%減の157.6時間と、3年連続で減少しており、この数値を年換算すると、年間総実労働時間は1,891.2時間となっています。特に、所定外労働時間（早出・残業・休日出勤など）が2年ぶりに減少に転じており、前年比6.4%減の10.8時間と大きく減っています。

なお、全国の状況を見てみると、月平均現金給与総額は331,300円（前年比0.4%増）と2年ぶりに増加していますが、月平均総実労働時間は149.3時間（前年比0.9%減）と2年連続の減少となっており、本県と同様減少傾向にあります。

表1 賃金（調査産業計、事業所規模5人以上）

| | 福島県 | | 全国 | |
|------------|---------|-----------|---------|--------|
| | 額(円) | 前年比(%) | 額(円) | 前年比(%) |
| 現金給与総額 | 293,798 | △ 1.0 | 331,300 | 0.4 |
| きまって支給する給与 | 249,367 | 0.2 | 270,511 | 0.4 |
| 所定内給与 | 230,566 | 1.0 | 251,068 | 0.5 |
| 所定外給与 | 18,801 | ※ △ 1,539 | 19,443 | △ 1.5 |
| 特別に支払われた給与 | 44,431 | ※ △ 3,696 | 60,789 | 0.2 |

※ 福島県の所定外給与及び特別に支払われた給与の前年比欄は前年差(単位:円)

表2 労働時間（調査産業計、事業所規模5人以上）

| | 福島県 | | 全国 | |
|----------|-------|--------|-------|--------|
| | 時間 | 前年比(%) | 時間 | 前年比(%) |
| 総実労働時間数 | 157.6 | △ 0.1 | 149.3 | △ 0.9 |
| 所定内労働時間数 | 146.8 | 0.4 | 138.6 | △ 0.8 |
| 所定外労働時間数 | 10.8 | △ 6.4 | 10.7 | △ 2.7 |

【資料】 福島県統計調査課『福島県の賃金・労働時間・雇用の動き（平成20年平均）』

統計豆知識

現金給与総額と総実労働時間数

「現金給与総額」とは、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計額のことをいいます。「きまって支給する給与」とは、労働協約、就業規則などによりあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことであり、所定外給与(超過労働給与)を含みます。「特別に支払われた給与」とは、夏・冬の賞与、期末手当などの一時金や結婚手当など支給事由の発生が不確定なものなどをいいます。

「総実労働時間数」とは、「所定内労働時間数」と「所定外労働時間数」の合計時間数のことをいいます。「所定内労働時間数」とは、事業所の就業規則で定められた正規の始業時刻と終業時刻との間の休憩時間を除いた実労働時間数のことであり、「所定外労働時間数」とは、早出・残業・臨時の呼出・休日出勤などの実労働時間数のことをいいます。

☆ 福島県の特徴を統計値から探ってみましょう

〈 統計でみる福島県 〉

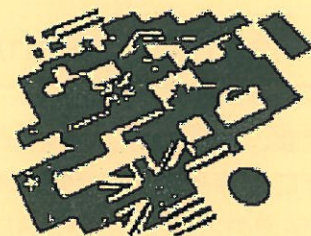
福島県の人口のピークは、平成10年1月の2,138,454人でしたが、その後減少に転じ、以後10年間で約8万人が減少しています。平成20年1年間では12,701人が減少しており、特に転出による人口減少が顕著となっています。

しかし、福島県の外国人登録者数は増加傾向にあります。平成19年には、前年より369人増え、12,857人（全国2,152,973人）となりました。この数は、全国27位、東北では宮城に次いで2位となっています。

なお、福島県の場合、出身地別ではアジア出身、在留目的別では、永住目的で訪れている方が多くなっています。

出身地・在留目的別ランキング（上位5位）

| 出身地 | | 在留目的 | | |
|-----|-------|-------|--------|-------|
| 1位 | 中国 | 5,654 | 永住 | 3,218 |
| 2位 | フィリピン | 2,405 | 婚姻・出生等 | 2,402 |
| 3位 | 韓国・朝鮮 | 2,072 | 特定活動 | 1,417 |
| 4位 | ブラジル | 534 | 特別永住者 | 1,370 |
| 5位 | アメリカ | 348 | 研修 | 1,262 |



【出典】福島県の推計人口（福島県統計調査課）、登録外国人統計（法務省）

☆ 福島県統計協会からのお知らせ

【刊行物の御案内～平成21年4月発売予定～】

○「第123回福島県統計年鑑」



福島県の人口、産業、経済、文化、環境などの各分野にわたる基本的な統計を、総合的かつ体系的収録した総合統計書です。

〈主な内容〉

沿革、自然、人口、労働、産業、行財政、教育、文化、福祉、環境など、全16章238項目

※ 掲載データに加え、明治12年以降の福島県の人口の推移等を収録したCD-Rも付いています。

〈規格〉A4判 約460ページ

〈定価〉6,800円（税込み）

○「一目でわかる福島県の指標2009」



人口・経済・福祉・教育などの多方面から収集した様々なデータをもとに、全国における福島県の位置づけや県内市町村の特徴を紹介しています。

〈主な内容〉

全国から見た福島県、全国における福島県ベスト5、都道府県編、時系列編、市町村編

〈規格〉A5版 約170ページ

〈定価〉1,000円（税込み）

予約も受け付けておりますので、購入希望の方は、福島県統計協会（Tel 024-521-7143）まで、お問い合わせください。